



相手を思う気持ち「礼」

この夏は、様々な大きなイベントが開催され、それぞれの立場のいろんな意見があり、とても多くのことを学ぶことができました。そんな中の一つ、第103回全国高校野球選手権大会で優勝した和歌山県代表の智辯学園和歌山高校のことを紹介します。今大会の智辯和歌山の話で最も反響が大きかったのが、優勝した瞬間に取った選手の行動でした。過去の大会では、優勝が決まった瞬間、勝利チームの選手らはマウンド付近に集まって抱き合ったり手を高く空に向けて大喜びし、負けたチームの選手らは、その様子を見ながら整列を待つのがおなじみでした。しかし、今回、智辯和歌山の選手らは、喜びを爆発させることを後回しにし、まずは整列をして試合終了後の礼を優先しました。智辯和歌山の主将は、「相手チームがいますし、礼に始まり礼に終わるということで、礼で終わってから全員で喜ぼうと話していました。」と語りました。全員とは、ベンチ入りしたレギュラーだけではなく、「去年の先輩方は甲子園を目指せなかったのが、その思いも背負い日本一を目指してやってきました。39人で取れた日本一は本当に最高です。」と、先輩やスタンドの仲間にも思いを寄せて話しました。1回戦の対戦相手であった宮崎商業が新型コロナウイルス感染症の



手前が智辯和歌山。優勝を喜び合うことを後回しにし、相手より先に整列しようとする姿が反響を呼んだ。

ために試合をできなかったことにも気を配っていたと言います。

「礼」とは、社会の秩序を保ち、人間関係を好意的にするものです。人の道として行なうべき最も重要な規範であると言われることもあります。日本一になることを目指してきた選手たちは、血のにじむような努力を重ねる高校生活を送ってきたことと思います。その目標を手にした瞬間にも相手や多くの人のことを考える気持ち、「礼」を大切にできる心が、智辯和歌山の強さであり、優勝旗以上に価値あるものと言えます。

新型コロナウイルス感染症のために、多くの人が苦しみ、つらい思いをしています。この状況がいつまで続くのか誰も予測できません。そんな中、2学期が始まります。みんなが、それぞれの立場や状況で、いろんな思いをもって生活をしています。心配や不安は尽きませんが、このようなときだからこそ、私たちは、相手を思う気持ちを大切に、互いに支え合いながら進んでいくのです。

夏休みが延長された期間に、中学生のみなさんよりほんの少しだけ年上の智辯和歌山の高校生から得ることができた学びでした。

9月行事予定 ※ 変更する場合があります。その都度確認してください。

- 1 (水) 始業式 10月献立表配布
- 2 (木) 3年生復習テスト 1・2年生課題テスト 給食申込(～6日)
生徒会選挙公示
- 3 (金) 生徒会専門委員会 生徒会役員立候補受付(～7日)
SSW(スクールソーシャルワーカー)来校日
- 7 (火) あいさつ運動(～9日) SC(スクールカウンセラー)来校日
- 8 (水) いじめなくそうデー
- 10 (金) 3年競書会 給食費振込書配布
- 11 (土) 給食費振込期間(～13日)
- 13 (月) ALT来校日
- 14 (火) 諸費納入日 選挙管理委員会 SC来校日
- 15 (水) 諸費納入日 ALT来校日
- 16 (木) 6限金5 2年尿糖検査 生徒会選挙運動(～15日)
- 17 (金) 金12346 木6 1・2年競書会 3年宿泊研修保護者説明会 SSW来校日
- 21 (火) 笑顔でおはよう運動 SC来校日
- 22 (水) 研究授業訪問(市教育委員会来校) ALT来校日 11月献立表配布
- 24 (金) 木3456 56限生徒会選挙 給食申込期間(～29日)
- 27 (月) 生徒会選挙結果発表 ALT来校日
- 28 (火) SC来校日
- 29 (水) 中体連秋季大会壮行会 ALT来校日
- 30 (木) 1年尿糖検査

※ 各高校の学校説明会等については、コロナや警報等による変更もあります。担任を通じてご確認ください。